※2024年10月 Demis Hassabis氏とJohn M. Jumper氏のノーベル化学賞受賞を受けて、AlphaFold3の使い方についての講義資料を再編集しました。

バイオインフォマティクス (2024年6月10日)

第9回 タンパク質の構造予測

近畿大学・理工学部 生命科学科 飯田 慶(いいだ けい)₁

AlphaFold3を使ってみよう(1)

- ① a)~c)のいずれかの方法でアクセス
 - a) alphafold serverで検索



b) URLを打ち込む (スペルミスに注意!)

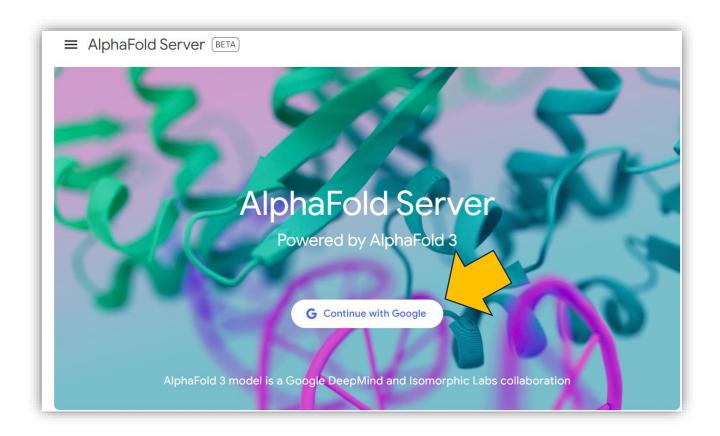
https://alphafoldserver.com/

c)バーコードから アクセス



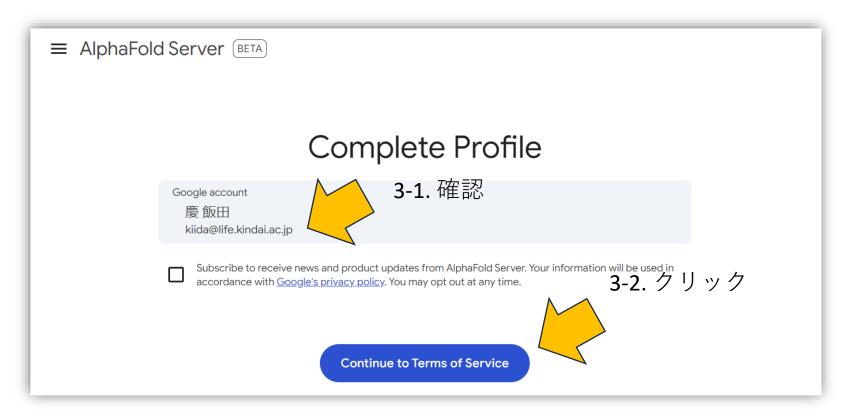
AlphaFold3を使ってみよう(2)

② "Continue with Google"を選択



AlphaFold3を使ってみよう(3)

③ グーグルのアカウントでログインする、chromeでログインしている人は、そのままアカウントが表示されているので、そのまま先に進む。 (近畿大学の方は大学アカウントでOK)



AlphaFold3を使ってみよう(4)

注意事項は目を通しておく。

AlphaFold Server Terms of Service

AlphaFold Serverの使用には、Googleの利用規約およびAlphaFold Serverの追加利用規約が適用されます。

知っておくべき重要なこと

- 1. AlphaFold Server は、個人および非営利組織 (大学、非営利団体、研究機関、教育機関、政府機関) による非営利目的、またはジャーナリズム目的でのみご利用いただけます。
- 2. AlphaFold Server またはその出力を使用しないでください。
 - a. 営利組織に代わって行う調査を含むあらゆる商業活動に関連して;
 - b. GlideやAutoDockなど、**タンパク質とリガンドまたはペプチドとの結合または相互作用を予測する 自動化システム**において、または
 - c. AlphaFold Server と同様に、**生体分子構造予測のための機械学習モデル**または関連技術をトレーニングします。
- 3. お客様は、継続的な使用が<u>AlphaFold Server 出力の利用規約</u>およびお客様が行った変更の対象となることを明確に通知する要件を含む、当社の規約に従って AlphaFold Server 出力を<u>公開、共有、および適応</u>することができます。

AlphaFold3を使ってみよう(5)

If applicable, please confirm your:

• Organization, university, or other affiliation(s):

Organization KINDAI University, JAPAN 5-1. 大学名を入れる。近大生の場合、例の通りでOK

As a reminder, AlphaFold Server is not available for: (i) commercial work, even if on behalf of a non-commercial organization; (ii) commercial organizations. The only exception is journalism which is permitted.

/

I accept the Google Terms of Service and AlphaFold Server Additional Terms of Service



5-2. チェックを入れる

5-3. クリック
Accept and continue

AlphaFold3を使ってみよう(6)

プライバシーポリシーについて (近大生の場合、大学のアカウントがGoogle発行のもの。ここでのプラ イバシーポリシーもそれに準じている)

Using AlphaFold Server:

Last Modified: May 8, 2024 | Download PDF

By using AlphaFold Server, you acknowledge you have read the <u>Google Privacy Policy</u> and this AlphaFold Server Privacy Notice:

- 1. In accordance with the "Retaining Your Information" section of the <u>Google Privacy Policy</u>, we may retain time-stamped records of the sequences you input into AlphaFold Server and the output it generates ("**User Record**") for an extended period of time to monitor compliance with, enforce and investigate potential violations of the Terms.
- Notwithstanding the "Exporting, removing & deleting your information" section of the <u>Google Privacy Policy</u>, <u>deleting your Google account or amending or deleting your AlphaFold Server history will not delete</u> your <u>User Record</u>. We take steps to protect your privacy, including



AlphaFold3を使ってみよう(7)

※アカウント登録後はここから作業開始

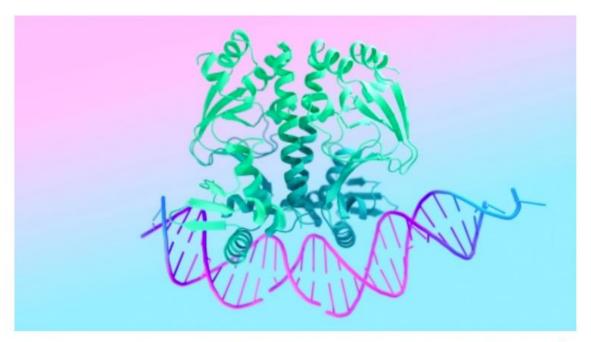
タンパク質のアミノ酸配列を入れるウィンドウがあることを確認



題材

DNA塩基配列の"編集"を行うために設計されたタンパク質と、DNA二重鎖、 金属イオンの複合体を予測してみる。

従来、タンパク質の構造予測だけでも困難だった。
AlphaFold3はこれを高い精度で行い、さらに分子間相互作用まで予測する!



グーグル・ディープマインドが開発したAlphaFold3はタンパク質と他の分子の相互作用を予測できる

(出所:グーグル・ディープマインド)

[画像のクリックで拡大表示]

(日経クロステックHPより)

題材

ホーミングエンドヌクレアーゼ (メガヌクレアーゼとも呼ばれる);微生物の可動性介在配列 内にコードされているDNA 切断酵素。

塩基配列を認識してDNA切断をするため、DNA編集を目的としたタンパク質デザインの標的となる。

(アミノ酸配列を変えた時に、どのような塩基配列を認識するかの予測が 重要!)

Nucleic Acids Research

核酸研究2017年8月21日;45(14):8621-8634.

2017年6月20日にオンラインで公開されました。doi: <u>10.1093/nar/gkx544</u>

PMCID: PMC5737575

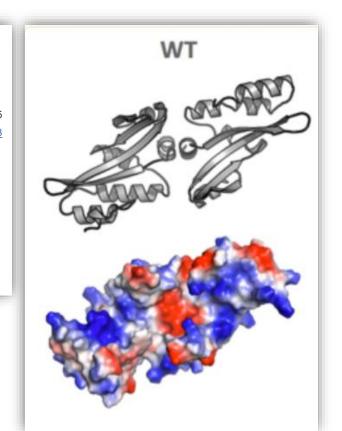
ID: <u>28637173</u>

結晶構造解析により、メガヌクレアーゼの標的特異性の顕著な可塑性と効率的な 再コーディングが明らかになった。

 $\underline{\text{U}}$ イチェル・ワーサー、 1 $\underline{\text{SP}}$ $\underline{\text{ZP}}$ $\underline{\text{V}}$ $\underline{\text{V}}$

▶ 著者情報 ▶ 記事注記 ▶ 著作権とライセンス情報 PMC免責事項

https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC5737575/



解析に使う、タンパク質と核酸の配列

>Meganuclease I-Onul 3rd

MASSRRESINPWILTGFADAEGSFGLSILNRNRGTARYHTRLSFTIMLHNKDKS ILENIQSTWKVGSILNNGDHYVSLVVYRFEDLKVIIDHFEKYPLITQKLGDYKLF KQAFSVMENKEHLKENGIKELVRIKAKMNWGLNDELKKAFPENISKERPLINK NIPNFKWLAGFTSGDGSFFVRLRKSNVNARVRVQLVFEISQHIRDKNLMNSLI TYLGCGHIYEGNKSERSWLQFRVEKFSDINDKIIPVFQENTLIGVKLEDFEDWC KVAKLIEEKKHLTESGLDEIKKIKLNMNKGR

>DNA1
GGGGGCATGCAGATCCCACAGGCGCG

>DNA2 GGCCGCGCCTGTGGGATCTGCATGCC

AlphaFold3を使ってみよう(8)





Meganucleaseのアミノ酸配列を張り付ける(300残基であることを確認)

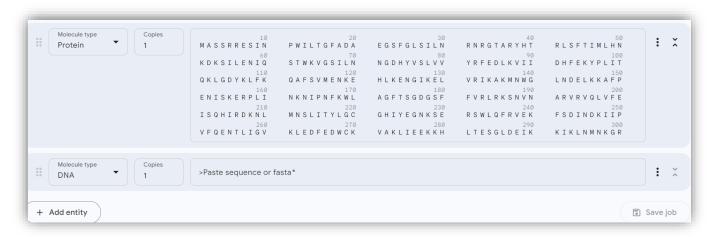


AlphaFold3を使ってみよう(9)



+ Add entryをクリックして、 入力枠を増やす





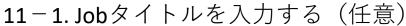
AlphaFold3を使ってみよう(10)

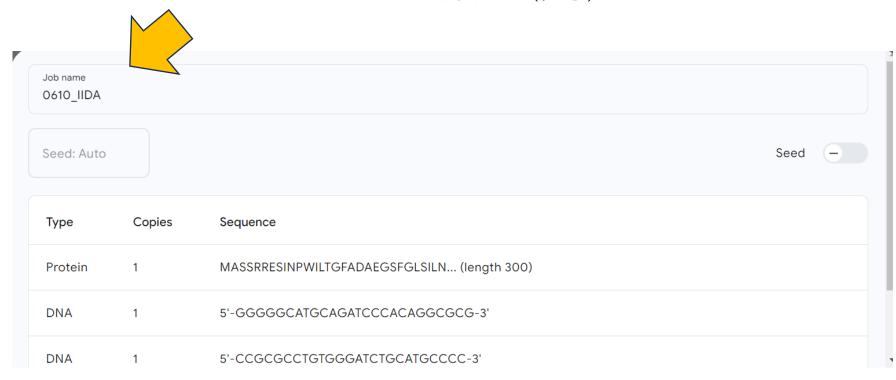
10-1. 配布したfastaファイルから **DNA1**, **DNA2**の塩基配列を張り付ける。



10-2 すべての配列を張り付けたら クリック

AlphaFold3を使ってみよう(11)





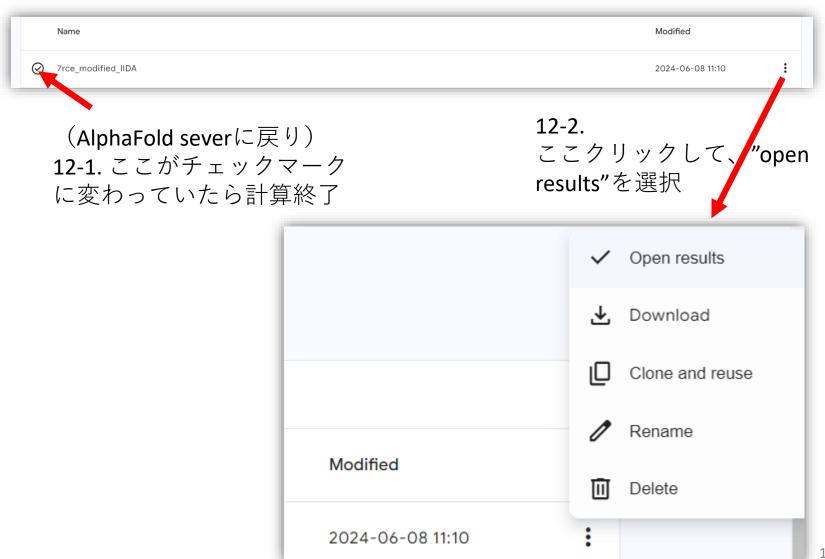
Go back and edit this job

Confirm and submit job

<mark>1</mark>日の実行数に上限があるので 間違えないように!

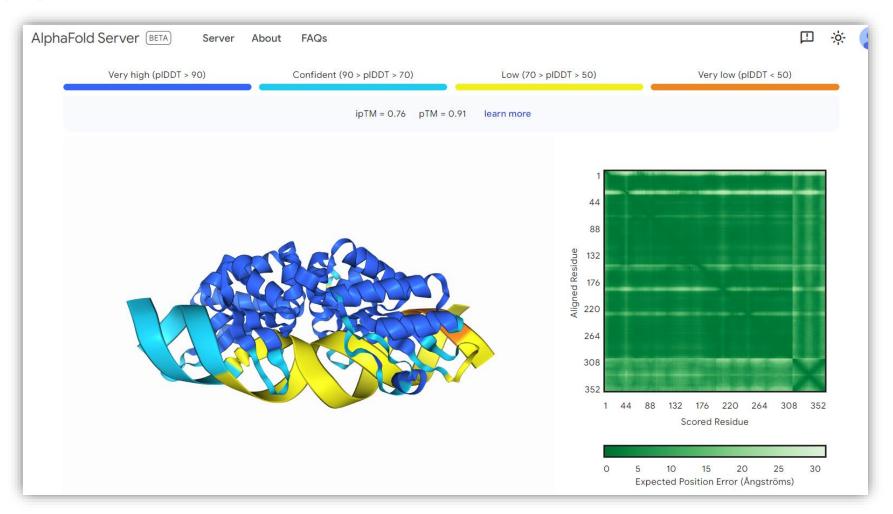
11-2. クリック (計算が始まるので、待つ)

AlphaFold3を使ってみよう(12)



AlphaFold3を使ってみよう(13)

結果の確認



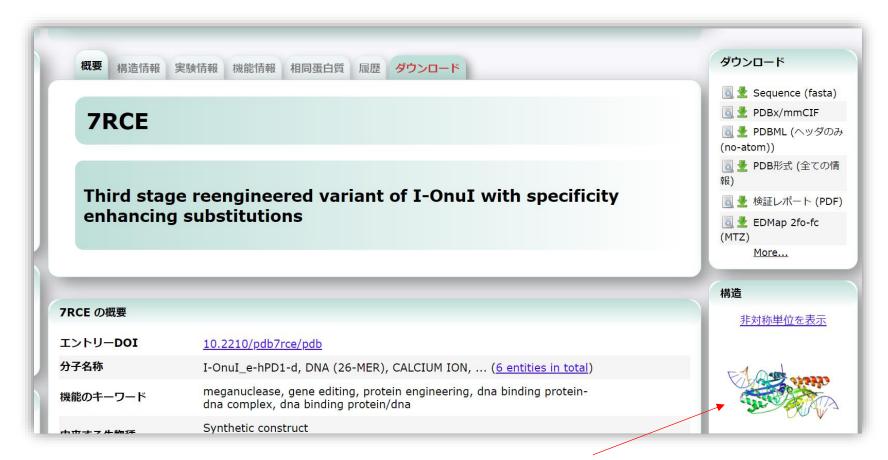
予測の確からしさは カラーバーで表示される

• 原子間の相対位置関係 の確からしさ

正解構造を確認してみる

① PDBjで ID; 7RCEを検索

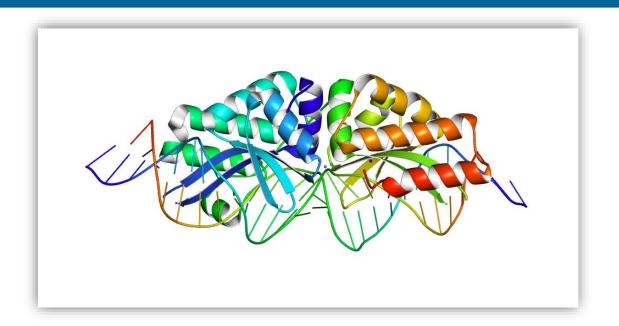
https://pdbj.org/mine/summary/7rce?lang=ja



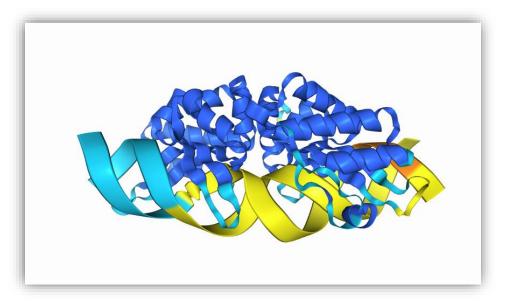
②ここをクリックすると実験的に決められた タンパク質立体構造を見ることができる

正解構造を確認してみる

正解構造



予測構造



PDB情報の確認

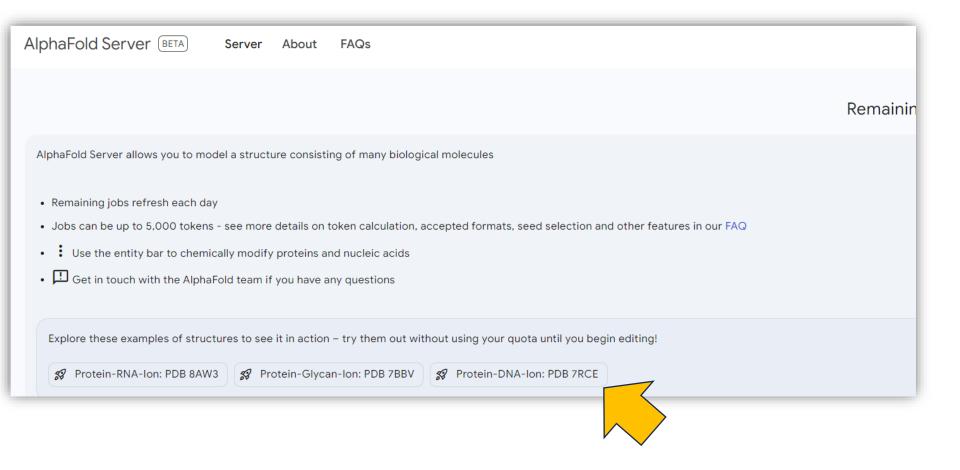
PDBjで ID; 7RCEを検索したあとの画面から



分子構成を確認する

ty į	鎖名	説明	種類	鎖長	化学式量	分子数	データベース名(ア クセス番号)	エンティテ 由来する生物種 ィの一般名
	A	I-OnuI_e-hPD1-d	polymer	300	34983.3	1		Synthetic construct
	В	DNA (26-MER)	polymer	26	8064.2	1		<u>Synthetic</u> <u>construct</u>
(С	DNA (26-MER)	polymer	26	7917.1	1		<u>Synthetic</u> <u>construct</u>
,	A	CALCIUM ION	non- polymer		40.1	3	Chemie (<u>CA</u>)	予測には使わ
,	A	SODIUM ION	non- polymer		23.0	1	Chemie (<u>NA</u>)	カルシウムイ
		water	water		18.0	8	Chemie (<u>HOH</u>)	トリウムイオ - ていることが

金属イオンを追加する



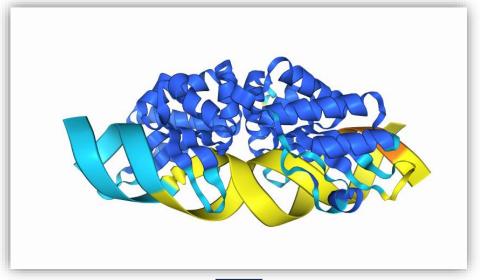
金属イオンを追加する

***	Molecule type Protein	Copies 1	M A S S R R E S I N			RNRGTARYHT	RLSFTIMLHN	K D K S I L E N I Q	:	
				NGDHYVSLVV	YRFEDLKVII 150	DHFEKYPLIT		QAFSVMENKE 180		
				VRIKAKMNWG		ENISKERPLI				
			FVRLRKSNVN	ARVRVQLVFE	ISQHIRDKNL	MNSLITYLGC	GHIYEGNKSE	RSWLQFRVEK		
			FSDINDKIIP			V A K L I E E K K H	L T E S G L D E I K			
::	Molecule type DNA	Copies 1	G G G G C A T G C	A G A T C C C A C A	G G C G C G				:	
::	Molecule type DNA	Copies	C C G C G C C T G T	20	26					
	DIVA		CCGCGCCTGT	GGGATCTGCA	14000					
	Molecule type	Copies								
•••	Ion	3	Ca ²⁺					•		
••	Molecule type	Copies							١.	
•••	Ion	1	Na ⁺					•	:	

1回目と同様に予測を実行する。 AlphaFoldがデモ用に提示ているデータなので、計算はすぐ終わる

金属イオンを追加する

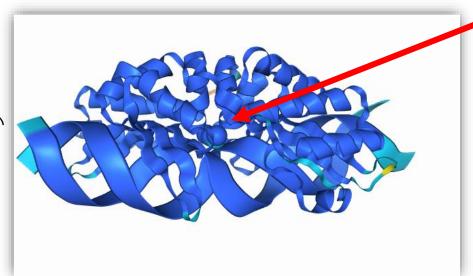
1回目 金属イオン<mark>なし</mark>





2回目 金属イオン<mark>あり</mark>

構造はほぼ同様だが、 予測精度が上がっている



この辺りに金属イオンが入っている。 これによりDNAの 構造が"AIにとって "違和感のないものになった。

つまり金属イオン の必要性を予測し ている!